

うさぎ組だより

きらら保育園 令和4年12月1日発行

今年も最後の月となりました。日に日に寒さが厳しくなり、冬の訪れを感じます。子どもたちは、身の回りのことを自分でやってみようとしたり、自分の思いを表現したり、友達との関わり方を考えたりなど、一人一人のペースで様々なことに挑戦し、できることが増え、成長を感じさせてくれることを嬉しく思います。これからも一人一人の思いや発達を大切にしながら、成長を支えていけたらと思っています。

これから寒さが厳しくなり、感染症なども流行しやすい時期になってくるので、感染予防に努めながら、健康に過ごせるようにしていきたいと思っています。



おともだち だ〜いすき♡

友達同士での関わりが増え、同じ遊びをしたり、やり取りをしたり、なりきり遊びをしたりすることを喜んでいます。時には、思いのすれ違いから言い合いになる時もありますが、友達同士で「一緒に遊ぼう」「あとで」「今使ってる」「終わったら貸してあげるね」などと、互いに思いを伝えながら解決しようとする姿が見られるようになりました。自分たちで解決しようとする気持ちを大切に、危険のない限り、保育者側に付きながら関わりを見守ったり、必要に応じて仲立ちをしたりしています。友達同士での関わりを繰り返す中で、思いの伝え方を学んだり、友達の良さを感じたりできるようにしていきたいと思っています。



12月生まれの おともだち

工藤
らんまるさん



クリスマス制作



クリスマス制作で、リースを作りました。今回は、毛糸通しに挑戦！！はじめは、交互に穴を通すことに難しさを感じている子どももいましたが、少しずつ慣れてくるとスムーズに行えるようになりました。順番に穴に通していく子ども、好きな場所の穴に通していく子ども…。ポンドでポンポンボールもつけ、個性豊かで可愛らしいリースができました☆



～ 指先を使った遊びに挑戦！！～

指先を使うことが上手になってきたうさぎ組さんは、遊びの中で箸掴みや、ひも通しをして楽しんでいます。はじめは「難しいな…」「どうやってやったらいいの？」という姿が見られていたのですが、繰り返し経験してきたことで、スムーズにできるようになり、「みて！いっぱいつかめたよ！」「長く繋ぐことができたよ！」などと自信满满に知らせてくれるようになりました。遊びの中で経験していくことで、スプーン・フォークの持ち方、箸の使い方も上手になってきています。引き続き、遊びの中で楽しみながら、様々なことを学ぶ機会をつくっていけたらと思っています。

